



HIRANO TECSEED Co.,Ltd.

第101期 中間 株主通信

2024年4月1日から2024年9月30日まで



株式会社 ヒラノテクシード



「Wet & Dryのコーティング装置」で 世界トップクラスの企業として、 企業価値の一層の向上を目指します。

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、第101期中間期(2024年4月1日から2024年9月30日まで)の決算を終了いたしましたので、その概況につきましてご報告申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2024年12月

取締役社長 岡田 薫

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、インバウンド需要の拡大や雇用や所得の環境も改善に向かうなか、追加利上げが実施されました。一方で、依然エネルギー価格の高騰や物価上昇は継続しており、為替や株価の動きも安定しないなか、先行き不透明感は払拭されない状況で推移いたしました。

世界経済は、米国では個人消費や良好な雇用情勢並びに住宅投資需要を背景に比較的堅調に推移いたしました。設備投資が低水準にとどまるなど、製造活動の低迷が続くことも懸念され、景気に不安定な状況が見られます。また、中国においては引き続き不動産市場の低迷による景気の減速感が払拭されず、不透明な状態が続いております。その他、長期化するロシア、ウクライナ戦争や緊迫化する中東情勢などの地政学リスクもあり、海外景気や金融資本市場等の経済の先行きは不透明な状況で推移しております。

当社グループにおきましては、「成長基盤の確立～収益性・生産性の拡大」をスローガンとし、新たにスタートした「中期経営計画2024-2027年度」のもと、企業価値向上に向け邁進いたしました。

当中間連結会計期間の売上高は24,388百万円(前年同期比9.1%増)となり、利益面では営業利益は1,024百万円(前年同期比33.1%増)、経常利益は1,201百万円(前年同期比47.6%増)、親会社株主に帰属する中間純利益は867百万円(前年同期比53.8%増)となりました。

エネルギー関連分野を中心に生産は比較的堅調に推移し、売上高は計画を超える結果となりましたが、産業資材や人件費の高騰により利益は計画と比べて下振れとなりました。前期以前受注分の中長納期案件においては、資材の長納期化や価格の高止まり並びに外注費の高騰などによるコストへの影響は大きく、依然として利益率低下の要因となっております。前期に引き続き受注額の再交渉や部品装置の共通化・標準化によるコストダウン、装置の性能アップによる付加価値向上などに取り組んでまいります。

受注につきましては、主たる市場であるエネルギー関連分野において、北米を中心として工場計画の変更や納期の遅延等、顧客の大幅な設備投資の見直しにより、市場は予想以上に停滞し、当該分野においては機械装置本体の受注環境は見通しづらい状況が続いております。他方で、北米において、顧客の要望により施工範囲を拡大し、機械装置の架台や電気工事などの付帯工事等の受注を受けたことで受注高は前期に比べ増加となりました。

その結果、当中間連結会計期間における受注高は18,567百万円(前年同期比177.3%増)、受注残高は56,987百万円(前期末比9.3%減)となりました。

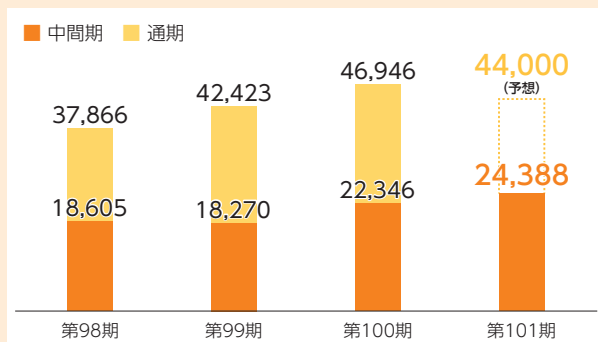
今後の見通しにつきましては、先行き不透明感が払拭され経済活動の安定が期待されますが、米国大統領選後の経済政策の動向や世界的な物価の高止まり、金融市場の変動リスクなど、景気の下振れリスクを認識しております。下期の生産量は上期と比較して低下する見込みですが、産業資材の高止まりや人件費の高騰への対策として部品・装置の共通化・標準化によるコストダウンを進めており、通期の利益予想は据え置いております。エネルギー関連分野の受注ニーズは中長期的には継続すると見込まれるものの、短期的には納期延期や設備投資見送りのリスクに備えるため、顧客動向を注視しグループの総合力を発揮して、幅広い市場分野の受注獲得を目指してまいります。

現段階におきまして、通期の売上高は44,000百万円、営業利益は2,900百万円、経常利益は3,000百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2,100百万円を見込んでおります。

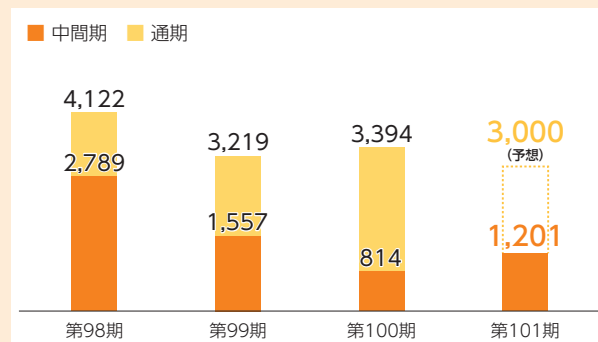
なお、この業績予想は、現時点で当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、今後、地政学的リスク並びに市場環境の変化等により業績予想の修正を行う必要が生じた場合には速やかに公表いたします。

連結業績ハイライト

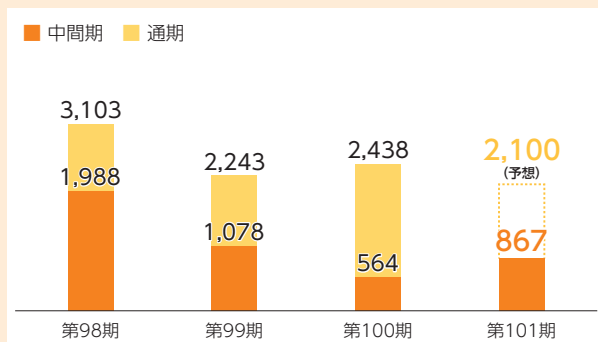
売上高 (百万円)



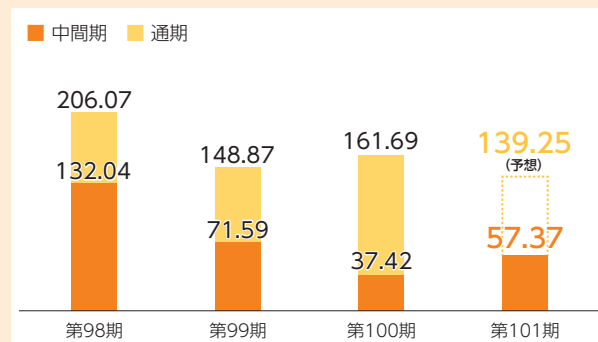
経常利益 (百万円)



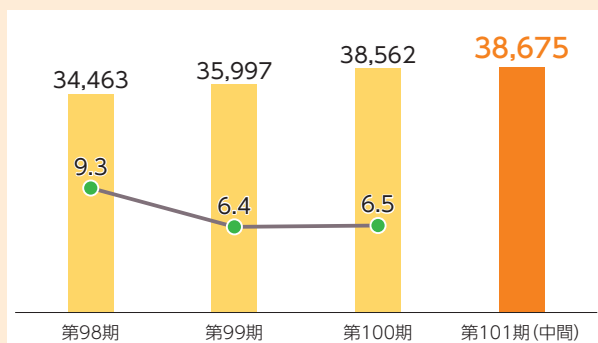
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益 (百万円)



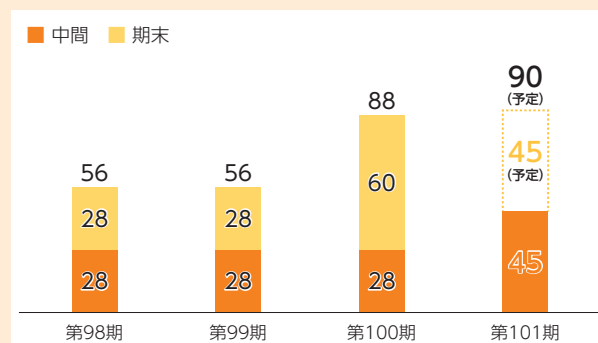
1株当たり中間(当期)純利益 (百万円)



自己資本 (百万円) / ROE -●-(%)



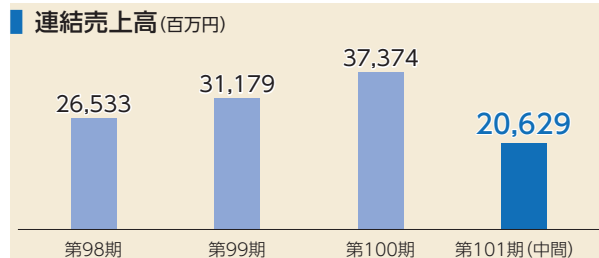
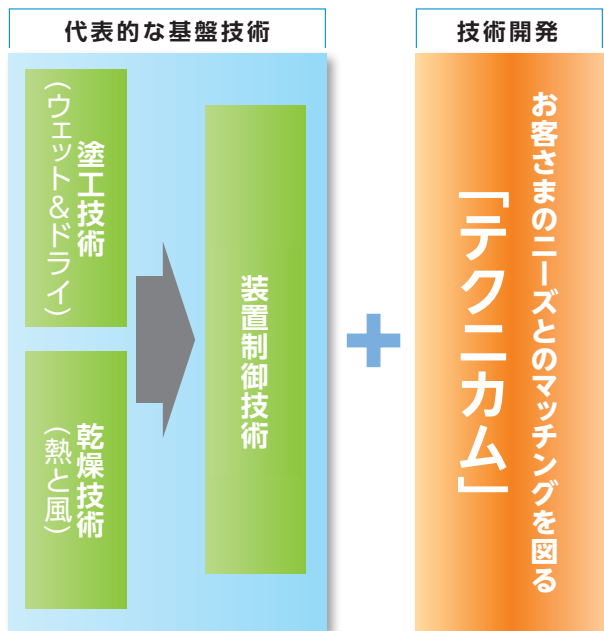
1株当たり配当金 (円)



(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2022年3月期 期首より適用しており、第98期以降の数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

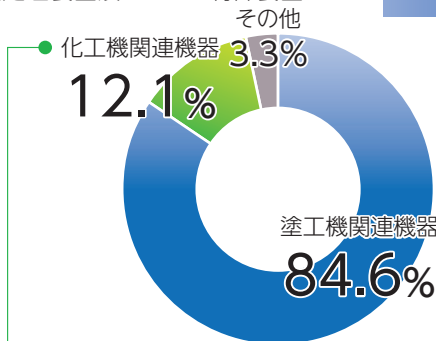
セグメント別状況

「塗工」「乾燥」「制御」の技術を融合させ、幅広い産業に欠かせない製造装置をお届けしております。



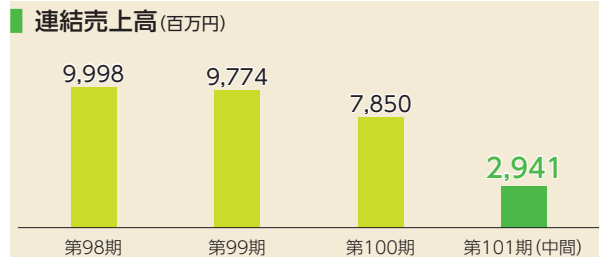
各種コーティング、ラミネーティング装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置

**塗工機
関連機器**

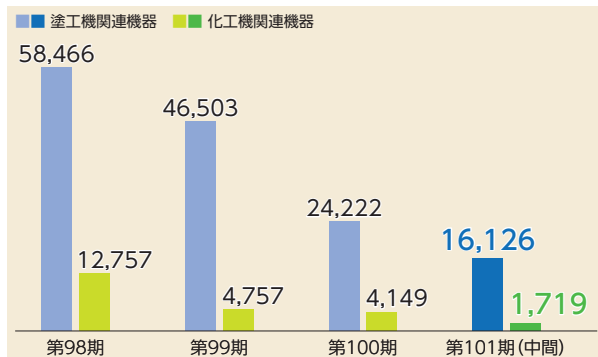


**化工機
関連機器**

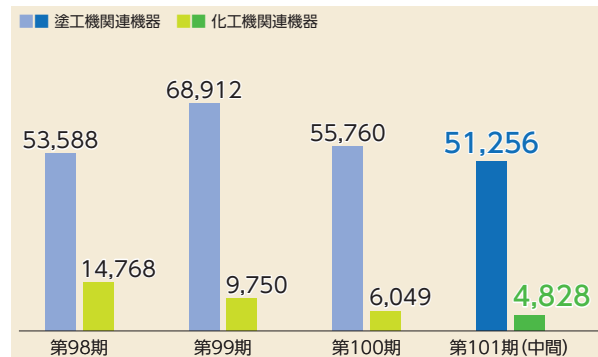
各種成膜装置、不織布・高機能繊維製造装置、フラットパネル塗布乾燥装置並びにこれらに付随する乾燥・熱処理装置及びライン制御装置



受注高 (百万円)



受注残高 (百万円)



(注) 「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日)等を2022年3月期期首より適用しており、第98期以降の売上高・受注残高については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

Pickup

「2024 ISCST Symposium」参加

2024年9月8日から11日にかけて、アトランタ(米国)で開催された「2024 ISCST Symposium」に参加いたしました。この国際会議は、世界中の塗布技術の専門家や実務者が一堂に会し、最新の研究情報を発表することを目的に2年に1度、米国で開催されています。

当社は、専門メーカーとしてコンバーティング業界の技術発展に寄与するため、ペロプスカイト型太陽電池専用の塗工設備に関わる基本特許出願の報告とともに、製造装置の基本的な仕様と今後の開発計画について発表いたしました。また、3件の学術発表並びにブース展示も併せて行いました。

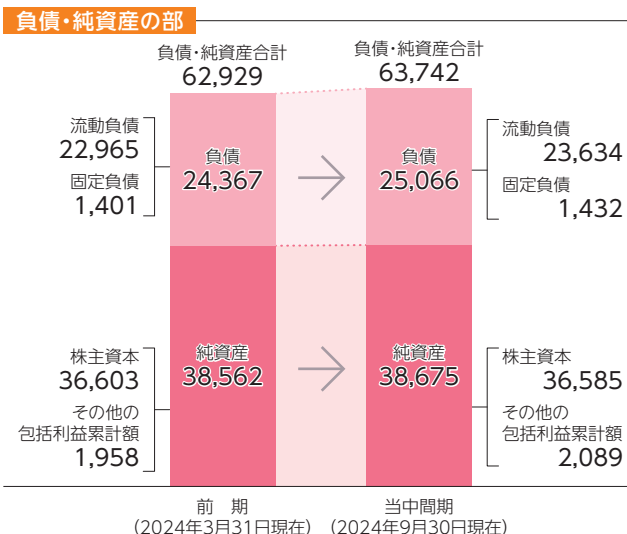
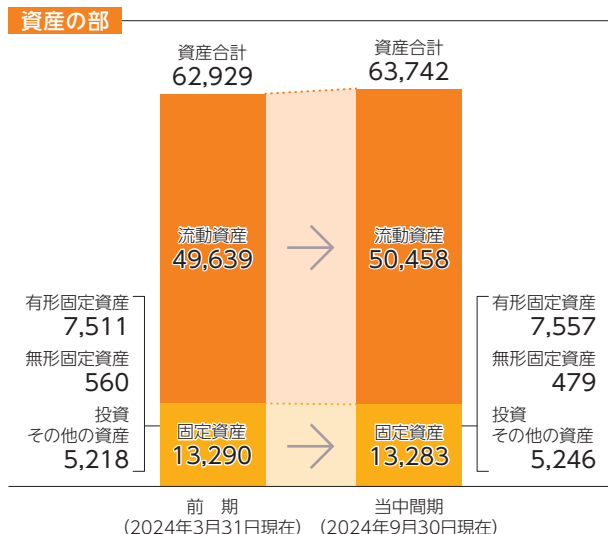
今後の予定としては、2025年1月にペロプスカイト型太陽電池専用の塗工設備の詳細仕様の発表と受注活動の開始を予定しております。続いて、2026年1月には展示会で実機を展示し、同年5月には初号機の納入を予定しております。これらの開発は、当社の中長期的な業績向上に寄与するものと考えており、今後の進捗に応じて適宜情報の公開をしてまいります。



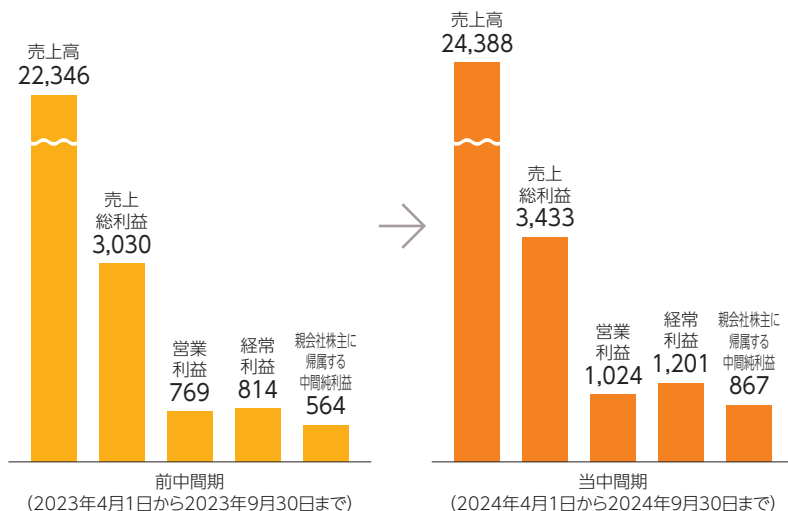
(向かって左から3人目)当社取締役 設計・開発部門管掌 大森、
(左から4人目)開発部門 執行役員 開発部部长 津田、その他開発メンバー

中間連結財務諸表

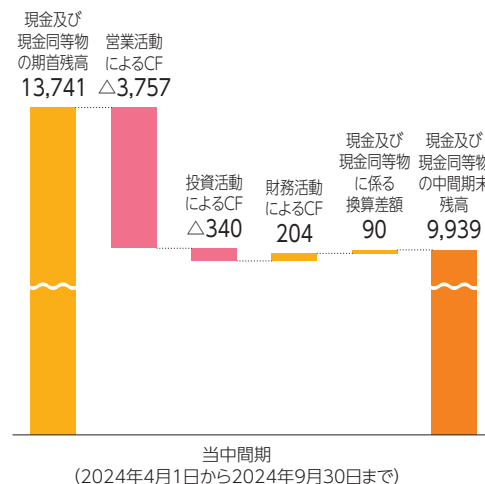
資産の状況(百万円)



損益の状況(百万円)



連結キャッシュ・フローの状況(百万円)



配当のお知らせ

第101期中間配当につきましては、1株当たり普通配当45円とさせていただきます。

■ 会社の概要

| | |
|------|---|
| 社名 | 株式会社 ヒラノテクシード |
| 英文社名 | HIRANO TECSEED Co.,Ltd. |
| 創業 | 1935年6月1日 |
| 設立 | 1949年7月25日 |
| 資本金 | 1,847,821,888円 |
| 従業員数 | 319名 |
| 事業所 | <p>本社 〒636-0051 奈良県北葛城郡河合町大字川合101番地の1 電話(0745)57-0681</p> <p>木津川工場 〒619-0215 京都府木津川市梅美台8丁目1番24 電話(0774)46-8715</p> <p>東京支店 〒101-0041 東京都千代田区神田須田町一丁目16番地 (ヒューリック神田ビル3F) 電話(03)5289-8834</p> |

■ 役員

| | |
|----------------|--------|
| 取締役社長(代表取締役) | 岡田 薫 |
| 常務取締役 | 安居 宗則 |
| 取締役 | 原 昌史 |
| 取締役 | 大森 克洋 |
| 取締役 | 鶴谷 信佳 |
| 社外取締役 | 藤本 万太郎 |
| 社外取締役 | 小西 隆志 |
| 社外取締役(常勤監査等委員) | 大久保 俊哉 |
| 社外取締役(監査等委員) | 吉田 郁子 |
| 社外取締役(監査等委員) | 西田 真規子 |

■ 子会社

| | |
|---------------------|--------------------------|
| ヒラノ技研工業株式会社 | (産業用機械器具製造) |
| 株式会社ヒラノK&E | (真空装置等製造及び 繊維機械等部品製造) |
| HIRANO AMERICA, INC | (メンテナンスサービス及び各種工事) |

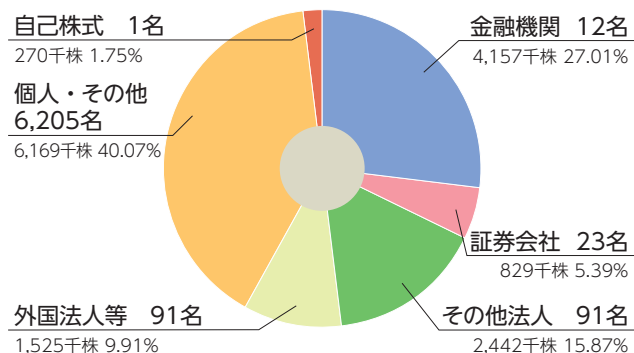
■ 株式の状況

| | |
|----------|-------------|
| 発行可能株式総数 | 50,000,000株 |
| 発行済株式総数 | 15,394,379株 |
| 株主数 | 6,423名 |
| 大株主 | |

| 株主名 | 当社への出資状況 | |
|--------------------------------|----------|------|
| | 持株数 | 持株比率 |
| | 千株 | % |
| 明治安田生命保険相互会社 | 1,450 | 9.59 |
| 伊藤忠商事株式会社 | 1,450 | 9.59 |
| ヒラノ会 | 1,353 | 8.95 |
| 株式会社三菱UFJ銀行 | 737 | 4.87 |
| 株式会社りそな銀行 | 731 | 4.83 |
| 立花証券株式会社 | 421 | 2.78 |
| ヨシダ トモヒロ | 364 | 2.41 |
| ヒラノテクシード従業員持株会 | 322 | 2.13 |
| 株式会社南都銀行 | 303 | 2.00 |
| PERSHING-DIV.OF DLJ SECS.CORP. | 283 | 1.87 |

(注)1. 上記のほか、自己株式270,063株を保有しております。
2. 持株比率は自己株式数を控除して計算しております。

■ 所有者別株式分布状況



株主メモ

| | |
|--------------------|---|
| 事業年度 | 毎年4月1日から翌年3月31日まで |
| 定時株主総会 | 6月中 |
| 期末配当金受領 株主確定日 | 3月31日 |
| 中間配当金受領 株主確定日 | 9月30日 |
| 上場証券取引所 | 東京証券取引所 スタンダード市場 |
| 証券コード | 6245 |
| 公告掲載方法 | 電子公告 (https://www.hirano-tec.co.jp/) ただし、事故その他やむを得ない事由によって 電子公告による公告ができない場合は、大阪市 において発行する日本経済新聞に掲載を行います。 |
| 株主名簿管理人 | 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 (お問合せ先) | 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 (通話料無料) : 0120-094-777 |

※株式関係のお手続き用紙のご請求は、次の三菱UFJ信託銀行のインターネットでも24時間承っております。

<https://www.tr.mufg.jp/daikou/>

ヒラノテクシード ホームページ



<https://www.hirano-tec.co.jp/>

ホームページで当社の事業活動、商品の案内、投資家情報などに関する詳しい情報をご覧いただけます。
ぜひご利用ください。